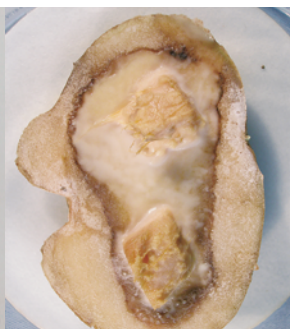


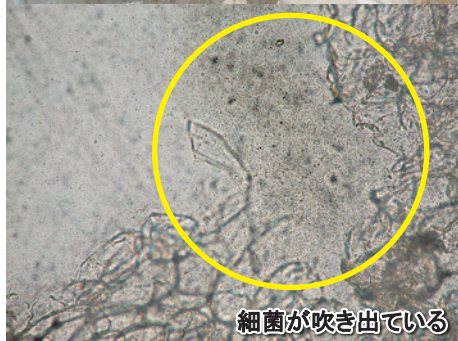
腐敗病 (*Pectobacterium carotovorum*)



アメ色、水浸状に腐敗、軟化
悪臭を発し、表皮のみ残して、
組織が崩壊する



確認試験での本病害菌
によるジャガイモの腐敗



細菌が吹き出ている

- 病斑部を顕微鏡で観察すると、細菌が観察される（青枯病ほど多くない）。
- ジャガイモ塊茎を輪切りにし、その断面上に病斑を置床し、30℃、多湿条件下で1日おく。ジャガイモの腐敗があれば、本病害の可能性はある。
- 強い軟腐臭がある。

ミウガ軟腐病

(*Erwinia chrysanthem*)



- 花蕾が淡褐色～褐色に変色し、水浸状に軟化する。
- 発病適温は25～35℃で、10℃以下は発病しない。
- 植物体の傷口から感染する。傷がなければ感染する可能性は低い。
- 腐敗臭はほとんどない。